

重点路線を絞り、地域バランスを考えながら県道整備に向けて県に要望して行きたい。

答弁 市長

県道、道路整備は郡上市の中で最も大切な仕事であると認識している。何といっても予算が不足している事につきるが、そんな中で、単に企画どりの道路を作る発想を方向転換し、最も効果的に改良を進めていかないとけないと思う。

現場に即応できるような道を造っていくよう県に要望していきたい。知恵を絞り、議員各位をはじめ、地域の皆さんのご協力を得て、全力投球して一日も早く皆さんのご不便の解消に最大限努力したい。

また、現在交通量が年々伸びており、そのことを勘案して世論を盛り上げる中で、郡上市の予算配分を確保していきたい。

質問

来年度の予算編成方向と郡上市建設計画の当面の実施事業について

特に昨今の三位一体改革等により交付税の減額など非常に厳

しい状況にあります。

この度の本議会に、十五年度の会計決算も上程されており、この決算の状況を反映させて7つの地域の十年間の建設計画予算が方向付け出来ると思います。

しかし、昨年合併調印された頃と比較すると短期間の内に財政状況も予想以上に厳しく変化しており、建設計画の十年計画も根本的に内容を見直す必要性を感じておりますがいかがでしょうか。

また、これから来年度予算編成時期となり、国の財政・予算方向も示されるわけですが、建設計画十年間の内、特に、当面の三年間の事業予算・実施事業を早い機会に方向付けする事が必要であるとおもいます。

事業費の按分等により実施する事業が地域事務所毎に出て来る前に、現在の厳しい財政状況を踏まえ、特に、7つの地域の地域間較差に配慮した実施基準を作り、それに基づいた計画・実施が必要だと思っておりますがいかがでしょうか。

その2点の取り組み方向とおおむね三年間の合併特例債の充当見込みと建設計画予算規模について伺いたいとおもいます。

また、地域較差は正・団体補助

金交付の方向性などを踏まえた新年度予算編成方針・編成スケジュールについても伺いたい。

答弁 総合政策部長

実施計画については、平成十七年度から十九年度の3ヶ年のより具体的な要望をとりまとめ、青空公聴、地域審議会の意見を踏まえて作業を行っている。事業予算規模、合併特例債、地方債の充当見込みは少し待っていただきたい。

実施基準については、市全体に効果の及ぶハード事業、特に箱物整備について市全域の見地から精査している。旧町村の計画を同種の施設、建設改良事業等全体で精査していく。

町村の枠がなくなった現在、複数の事業を一元化により効果が出せないか各部において市全域を見ながらより効率的、効果的な整備計画を検討している。

各種補助金に関しては、助役を中心としたプロジェクトチームの中で全ての事業を洗い出し、調整中で、市全体で一定のルール化をすること、地域振興事務所の予算枠で行う等新年度予算に間に合うよう調整している。

答弁 総務部長

来年度予算編成方針については、経常経費の更なる縮減に心掛けるとともに、新市建設計画に基づき均衡ある市の発展を目指した重点事業の傾斜配分をし、メリハリのある予算としたい。

市の将来に対する明確なビジョンを示し、個別施策についても趣旨を明確にして市民に分かり易く市民に理解される予算としたい。

予算スケジュールについては、十月に取りかかり、十二月上旬には市長査定を行い、来年の一月下旬には予算をとりまとめたい。

答弁 市長

財政、予算について、合併当初時点の状況と大きく変わり、現在の三位一体改革の中での変動について、率直に心配している。特に、合併特例債等の取り扱いについても、財源確保に向けて努力している。

予算確保を第一とし、地域審議会の意向も踏まえ、当面3年間の各7地域の年度毎の予算を調整しながら進めたい。

質問

少子化対策のための結婚相談員活動事業の充実と行政における活動支援・位置付けの強化について

昨今の少子高齢化がますます進行する中で、年々高齢者のみの世帯が増えておりますこと、反面、かなりの大きな集落においても、小学生が一人もいない、中学生が一人もいない、そんな地区が最近増えてきております。

そんな中、近年、未婚の男性・女性が増え、結婚相談員が不足している状況にあり

ます。今後十年、二十年後を思う時、高齢化の進展に伴う危機感とともに、今後、家庭崩壊等も懸念され、緊急事態だと思っております。

基本的には個人、個人それぞれの人生観・結婚観ではありますが、何と言ってもまず第一に結婚されて、少子化対策の原点である子供さんが一人でも多く生まれる事であると思います。

そのために現在7地域に結婚相談員さんがそれぞれ1名と商工会女性部の方々がご尽力頂き、縁組みの成果を上げていただいております、大変感謝いたしております。

す。

今までは、それぞれの旧町村の範囲での取り組みが主であったと思いますが、郡上市となりエリアも広くなりました。より出会いの機会を多くし、結婚縁組みが成立する件数を増やす必要があると思

います。そのため未婚者を支援するための環境づくりと出会いのための企画イベントをはじめとした活動等、行政における位置付けの強化と結婚相談員さんにおきましては、年代各層・男女幅広く増員していただくこと等、結婚相談員活動事業の充実支援の強化をすることが重要なことであると思っておりますがいかがか。

あわせて、市民の皆さんに結婚相談活動事業をよく知っていただくためのピーアールも必要と思う

答弁 総合政策部長

結婚問題は人口減少を考えると、非常に緊急的な課題と認識している。

現在結婚相談員35名の方が活動していただいている。平成8年から活動され、現在10組が結婚成立されております。現在、全体としては八幡町中坪



(台風23号被害・県道山田地内)

お願い

この度、第3号の「みなみの声」にて、台風災害、郡上市9月議会定例会の概要を報告させていただきました。今後とも皆様方の身近な問題・課題・思い・願い、何でも結構ですので皆様のお声を、是非左記にお寄せいただきますとともに、一層のご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

〒501-4102

郡上市美並町高砂766番地

古川文雄を育てる会

【TEL/FAX】79-2409

【E-mail】fumio-f@muse.ocn.ne.jp

【URL】http://www15.ocn.ne.jp/~fumio/